

富士総合火力演習



発行所
明野駐屯地
広報班

飛行教導隊

飛行教導隊は5月9日から28日までの間、東富士演習場で実施された富士総合火力演習に参加した。

同隊は、陸上自衛隊の航空科部隊の統制部隊として、自隊の航空機や他の部隊から参加した航空機と協同してヘリコプター火力戦闘や空中機動など、航空機の特性を最大限発揮した展示を行った。

防衛大臣や陸上幕僚長も視察された同演習は、観覧した自衛隊員に対して戦闘の様相を教育するのみならず、YouTubeでもライブ配信され、自衛隊の広報活動や国内外への抑止効果増大など、意義高い訓練となった。



今回初参加したV-22は、公の場で初めて小銃分隊を空輸



多数の地上部隊と協同するAH-1S



UH-1Jによるオートバイの空輸



UH-60Jによる人員のリペリング

第5対戦車ヘリコプター隊

第5対戦車ヘリコプター隊は、5月9日から28日までの間、東富士演習場畑岡地区で実施された「令和4年度富士総合火力演習」に、飛行支援隊長以下10名及び観測ヘリコプター（OH-1）1機が参加した。

部隊として今年2月、約6年2ヶ月ぶりのOH-1飛行再開後、初の任務であったが、関係部隊との綿密な調整の下、航空安全を確保しつつ着実に練成を積み重ね、本番に臨んだ。

残念ながら今年も、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、令和2年、3年に引き続き一般公開は中止となったが、操縦士及び整備員の旺盛な士気をもって訓練成果を遺憾なく発揮し、本演習の成功に大きく寄与するとともに、参加隊員の特技能力を向上させた。



OH-1による航空偵察



整備員による飛行支援



関係者間の綿密な認識統一

副校長及び最先任上級曹長着任

令和4年3月14日付で副校長（椿1佐）及び最先任上級曹長（江頭准尉）が着任しました。



【職名】 航空学校 副校長

【氏名】 椿 裕一

（つばき ゆういち）

【階級】 1等陸佐

【生年月】 昭和41年8月

【出身地】 東京都

【期別】 #90 U



【職名】 最先任上級曹長

【氏名】 江頭 貴

（えがしら たかし）

【階級】 准陸尉

【生年月】 昭和46年4月

【出身地】 熊本県

【期別】 一般85期

航空救難訓練



明野駐屯地は3月23日、航空救難訓練を実施した。駐屯地の外で航空機事故が発生したという想定のもと、駐屯地に航空救難サイレンが鳴り響いて訓練が開始され、隊員たちは迅速に情報収集、救難部隊の出動準備を整え、万が一の事態に備えた。



観桜会



4月9日、明野駐屯地で観桜会が行われた。駐屯地協力会等の方々に参加を得て、久々の実施となった。UH-2の見学、THシミュレータ体験の後、観桜会食が行われ駐屯地主要幹部と招待者が交流を深める絶好の機会となった。

家族向けオリエンテーション



4月9日、明野駐屯地で転入・新婚家族向けオリエンテーションが行われた。新たな職場に対する理解と信頼感を得ることを目的としており、参加した隊員家族は、明野駐屯地及び周辺に関する情報や福利厚生事業の説明を受けた他、航空機整備の現場や救難消防車など楽しそうな様子で見学をしていた。



YouTubeチャンネル登録
お願いします!



航空学校/明野駐屯地ユーチューブでは、新作「ハヤブサ特別映像」が配信中です。「ハヤブサ機内映像」とともに是非ご視聴ください。



部隊紹介

第10飛行隊

第10飛行隊は東海・北陸地区を警備担任する第10師団唯一の航空機を保有する部隊であり、災害時等において、最も迅速かつ広域に対応が求められています。飛行隊長古味2佐を核心として、統率方針「即応」の下、日夜即応性を堅持するとともに普通科部隊等他職種との協同訓練を積極的に実施して各種事態等に対応できる部隊として練度向上に努めています。

令和4年1月に創隊60周年を迎えるとともに、航空無事故飛行についても56年間継続中です。今後も、全隊員が厳格な規律心と積極性をもって地上・航空安全を確保しつつ、任務達成に努めていく所存です。

今年度は、師団小火力射撃競技会で3コ普通科連隊をはじめ14コ部隊参加したなか優勝を果たしました。この勢いを更に加速させ飛行隊一丸となり全力で努力していきますので、引き続き応援の程よろしくお願い致します。



〇〇〇 真珠抄 〇〇〇

『挺身利他(ていしんりた)』

聞きなれない言葉だと思いますが、私の職種である武器科精神で使われる言葉です。『武器科は、「営々不屈」と「挺身利他」の精神のもと、技術と叡智を結集して支援任務を完遂する。』というものです。

今回は、「挺身利他」について話させて頂きます。まず、挺身とは、「率先して身を投げ出し、困難な物事にたたること」という意味です。

利他は、「他人に利益を与えること、自分を犠牲にして他人のために尽くすこと」という意味となります。

私たち武器科の隊員は、どんな困難な状況下であっても、火力・機動力の根拠を支える被支援部隊の任務達成を第一に考え、あらゆる手段を尽くし、支援任務を完遂するために全力を尽くします。

その為にも、普段の工場での整備だけでなく、野外における整備技術・回収能力を向上させる必要があります。今月・来月と全隊員をもって野外訓練に参加し、駐屯地の皆様にはご不便をお掛けしますが、ご理解の程宜しくお願い致します。

(第107全般支援大隊整備中隊明野派遣隊長)

栄光の紹介

車両無事故走行2万キロ
第5対戦車ヘリコプター隊 門3曹



初心を忘れずに引き
続き無事故継続した
いです。

#187初級装輪操縦課程
第5対戦車ヘリコプター隊 木下3曹
大久保自動車教習所長賞



安全運転を第一にし
て、部隊の車両運行
に貢献したいと思
います。

#140陸曹候補生課程
第10飛行隊 中村士長
中部方面混成団長賞



これからは部隊の
精強化に貢献して
いきます。

新着任部隊長紹介

飛行実験隊長

1等陸佐

土谷 克弘



第1戦闘ヘリコプター隊
(目達原)より参りました。
より良い装備を部隊に届ける
べく尽力してまいります。
ので、今後ともご支援頂
けるようお願い申し上げます。

第10飛行隊長

2等陸佐

古味 聖也



航空学校第1教育部より参
りました。
歴史と伝統ある第10飛行隊
の飛行隊長として頑張る所存
です。
よろしく願い致します。

第104基地システム通信大隊
第306基地通信中隊明野派遣隊長

3等陸尉

高橋 孝次



東部方面システム通信群
(朝霞)から参りました。
隊長職としての勤務にと
も身が引き締まる思いであり
ます。
派遣隊共々よろしく願
います。

定年退官



2月17日
航空学校付
1等陸佐
水野 宏治



3月6日
整備部
1等陸尉
工藤 能敬



3月22日
整備部
3等陸尉
柳原 一章



3月31日
総務部
防衛事務官
田端 雄一



3月31日
総務部
防衛事務官
出口 恵子



4月20日
総務部
3等陸尉
太田 和弘

永年の自衛隊勤務、誠にお疲れ様でした。
皆様のご健勝とご多幸を祈念しております。